

メディアの中の政治／目次

第1章 ジャーナリズムと権力

1

- 1 はじめに——ジャーナリズム論の基点 1
- 2 ジャーナリズムの任務 3
- 3 民主主義と権力のとらえ方 7
- 4 ジャーナリズムと権力(1)——政治エリートとの関係 12
- 5 ジャーナリズムと権力(2)——マス・メディア組織・業界とジャーナリストとの関係 16
- 6 ジャーナリズムと権力(3)——世論との関係 19
- 7 ジャーナリズムと権力(4)——ニュースの物語と集合的記憶 26
- 8 むすび 31

第2章 ニュースの物語分析

35

- 1 はじめに——物語について 35

第3章 メディア・フレームと社会運動

61

- 2 ニュースの物語の重層性 38
- 3 ニュースの物語と関連する諸概念 42
- 4 言説実践における物語の機能(1)——ニュース・テキストの生産過程を中心に 47
- 5 言説実践における物語の機能(2)——間テクスト性の問題を中心に 50
- 6 「大きな(メタ)物語」と社会文化的実践 54
- 7 むすび——物語の重層性とニュース・バリュー 57
- 1 はじめに 61
- 2 メディア・フレームのとらえ方 62
- 3 メディア・フレーム論の諸相 65
- 4 社会運動論とメディア・フレーム論の交錯 73
- 5 むすび 83

第4章 世論調査という「権力」

——自衛隊のイラク派遣を中心に——

- 1 はじめに——世論調査の政治性 87
- 2 「メディア政治」時代における世論調査 90
- 3 「国際貢献」と「憲法」に関する世論と世論調査 93
- 4 自衛隊イラク派遣に関する世論と世論調査 99
- 5 むすび 111

87

viii

第5章 水俣病報道の「物語」

——一九五〇年代のニュース・バリユー——

- 1 はじめに 115
- 2 水俣病に関する新聞報道の概要 118
- 3 潜在化する水俣病事件 120
- 4 水俣病事件の物語化とニュース・バリユー 129
- 5 むすび 137

115

第6章 水俣病報道と労働運動

——「チッソ安賃闘争」を中心に——

- 1 はじめに——ジャーナリズムの不作為と労働運動 139
- 2 一九六〇年前後の社会意識、労働運動、社会運動 141
- 3 チッソ安定賃金闘争 154
- 4 安賃闘争と水俣病報道の停滞 172
- 5 むすび——住民運動論・市民参加論再考 178

139

第7章 沖縄地方紙がつむぐ「記憶の網」

——「慰霊の日」の新聞報道——

- 1 はじめに——中心と周辺、そして国民文化と地方文化 183
- 2 アジア太平洋戦争に関する「本土」の記憶 186
- 3 沖縄という「地方」 191
- 4 沖縄地方紙の歴史 196
- 5 「本土」と沖縄の「温度差」 200
- 6 慰霊の日と沖縄県営平和記念公園 204

183

7	「慰霊の日」をめぐる新聞報道（1）——二〇〇五～二〇〇七年	209
8	「慰霊の日」をめぐる新聞報道（2）——二〇〇八年の沖縄県紙の特集を中心に	213
9	むすび	228

あとがき 233

初出一覧 xi

引用・参考文献 iii

索引 i